

二十四球目



ポートマッコリー姉妹都市提携25周年



半田市長 榑原純夫

半田市は、アメリカ・ミシガン州・ミッドランド市、オーストラリア・サウスウェールズ州・ポートマッコリー地区、中国・江蘇省・徐州市と姉妹友好都市提携をしております、三都市とはこれまで、教育・文化・経済等様々な分野で交流し、絆を深めてきました。

このうち、ポートマッコリーとの提携が今年で25周年を迎えることとなったため、4月にはピーター・ベッセリン市長始め5名の公式訪問団とヘイスティング・コアラズ・オーケストラの皆さんが本市を訪れていただきました。そして、本市からは、8月に私や議長を始めとする公式訪問団4名と市民訪問団の皆さんとで、ポートマッコリーを訪問させていただきました。

ポートマッコリーは、シドニーの北、プロペラ機で約1時間の距離にある南太平洋に面した緑豊かで穏やかなまちです。

市庁舎に表敬訪問した際には、ピーター市長を始めとする職員、市議

会、市民の皆さんに温かく迎えていただき、再会の喜びを分かち合うことができました。また、歓迎会を開催していただいた会館「GLASS HOUSE」には、本市との25年間の交流にまつわる記念の品々が、立派な説明書きとともに整然と展示されており、これまでの友好関係や絆を大切にしていただいていることがひしひしと伝わり、感動しました。この交流を、更に大切にせねばとの思いを新たにしたのは、私だけではありません。

滞在中には商工会議所、姉妹都市委員会主催の夕食会なども開いていただき、歓迎の温かな雰囲気の中、有意義に交流を深めることができました。

オーストラリアでは、「日本酒」のミニブームとお聞きしましたので、持参した半田の清酒を紹介することで、本市の「醸す文化」や日本酒の魅力も少しは伝えられたものと思っております。また、一緒に訪問した日本福祉大学関係者と現地の大学

との交流も行われ、今後の大学間交流の具体的協議にも繋げることができ、この地域の国際交流の促進にも資することができたと思っています。

オーストラリアは移民の国で、シドニーの街でも様々な肌の色の人々を目にしました。市の中央駅に隣接してチャイナタウンが開けており、中国人とおぼしき人の姿を多く見かけました。日本名のレストランなども、殆どは中国人の経営なのだそう

です。我が国も人口減少時代を迎えており、移民について論議がされています。また、インバウンド（外国からの観光客）の増加や観光庁の省への格上げが、これからの我が国には必須ともいわれています。

若い皆さんには、是非積極的に海外に出て、国際感覚を身に付け、これからの半田市や我が国のために貢献していただくことを大いに期待します。

半田のコアラ

Zenani（ゼナニ：通称nani）という13歳のコアラ（♀）が、ポートマッコリーのコアラ病院で大事に飼育されています。彼女は、2013年春の森林火災で大火傷を負い、奇跡的に救助保護されたのですが、その時の怪我で木に登れません。しかし、その後出産も経験するなどとても元気です。このたび、本市との養子縁組がまとまり、彼女は「半田のコアラ」と呼ばれ、親善の一役を買って来ています。

